



# 木曽林務課だより

# 11月

高い山には薄っすらと雪積る木曽。寒さに負けず、毎年、地道に活動が続ける炭の匠たちによる「木曽の炭焼き講習会」を紹介します。

## 技術を伝える「炭焼き講習会」が開催されました ～ 消えかける技を後世に！ ～

木曽製炭振興協議会（協議会）では、様々な効果を持つ「炭」を焼く技術を後世に伝承していきたくと、毎年、秋に「炭焼き講習会」を開催しています。

今回は、11月23日（土）に大桑村で簡易炭窯（すみがま）を使った講習会が開催されました。

講習会の開催意義を伝える半場会長



講習会では、炭焼きの始めとして、窯への炭材の詰め込みを参加者の皆さんに体験いただきました。

炭材は竹を活用し、窯いっぱいに詰め、協議会員が説明しながら焚口を作り口焚きを行いました。

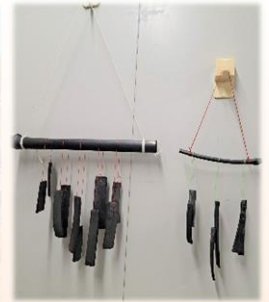


口焚きをした窯からの煙

炭材を詰める参加者

焼く工程は、説明だけで省略ですが、煙の変化など参加に対して熱心に説明が行われ、ある程度ご理解をいただけたのではないのでしょうか。

木曽製炭振興協議会では、楽しみも交えながらこうした講習会を地道に繰り返し行うことで、地域の炭焼き技術の伝承や、里山管理につながっていくことを期待しています。



今回のお楽しみは、竹炭を使った風鈴づくりでした